

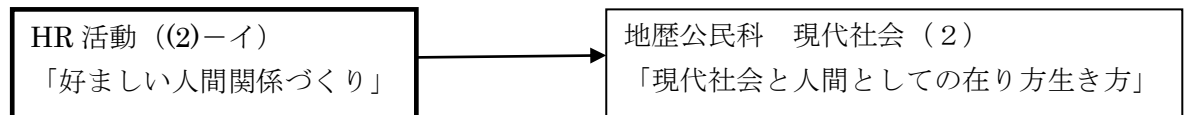
- 1 題材名 「好ましい人間関係づくり(より良いクラスづくりを目指して)」  
内容(2)-I 自己及び他者の個性の理解と尊重)

2 題材について

本題材は人間としての平等性について認識を深める内容である。高校生期には心理的発達も著しく、自分の生き方や社会との関わり方について真剣に考え始める時期であり、様々な関係性のなかで主体的な判断や正しい行動ができるようになることが重要である。

そこで、これからの人生において出会う人々の多様性や違いを理解し、ともに望ましい人間関係を築いていくとともに、適切な意志決定ができるようにするため本題材を設定した。

3 各教科、領域との関連(例)



4 指導計画

	教科等	活動内容
事前	SHR	アンケートによる実態把握
本時	HR活動	お互いの違いや個性を尊重し合う好ましい人間関係について考える。
事後	SHR他	事後アンケートの実施 人権学習便りの発行

5 本時の学習

(1) 目標 ○差別につながる違いのあることに気付くことができる。

○積極的に活動に参加し、他者の意見を聞きながら自分の意見をきちんと他者に伝えることができる。  
【思考・判断・実践】

(2) 展開

段階	生徒の活動	○教師の支援 ◆評価【方法】	資料等
導入 5分	1 本時のねらいと活動を確認する。  「違い」について考えよう。	○本時のねらいや活動の説明し、人権に関わるHRであり、学習内容について真剣に考え、取り組むことを伝える。	
展開 I 5分 ※個人	2 別紙1について考え記入する。 「あっていい違い」=○ 「あってはならない違い」× 「どちらともいえない」=△	○真剣に集中して考えることができるように静かな雰囲気をつくる。各項目について、必ず○か×か△を記入させる。	別紙1
展開 II 15分	3 6グループ(各4~5人)に分かれグループの意見をまとめる。 ・司会(発表者)と記録者を決める。	○各グループを巡回し、話し合いが円滑に行われるよう指導する。 ・副担任は結果一覧表(記入用)を黒板に貼る。	別紙2

※グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見を述べるときは理由も述べる。</li> <li>記録者は記録カードに記録する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いのルール・流れについて確認する。</li> <li>教師の考え・思いについては発言を控える。</li> <li>◆積極的に参加し、他者の意見を聞きながら自分の意見を他者に伝えることができる【観察】</li> </ul>	
展開 Ⅲ 15分 ※全体	<p>4 記録者は、黒板に貼ってある「一覧表」に○×△を記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表者は4～5個を選んで、理由をつけて発表する。</li> <li>自分たちとは違う分類をしたグループの意見について考えを聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意見が分かれた番号や△が多い番号を確認し、グループからの意見をもう一度聞く</li> <li>○明らかに誤った分類がされたカードがあれば、優先的に取り上げる</li> <li>・生徒の考えを深化させることを目的とし、結論は必要ではない</li> <li>・場合によっては前後半に区切って発表させる (前半：①～⑦ 後半：⑧～⑭)</li> </ul>	
終末 10分	<p>5 「あっていい違い」「あってはならない違い」の特徴を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最初に個人で考えたプリント1と結果表を見比べながら「考えの違い」があることを再度確認する。</li> <li>今後の望ましい人間関係をつくるための考えを、HRアンケートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人が、各グループの結果をきちんと見比べるように促す。</li> <li>◆差別につながる違いのあることに気付き、望ましい人間関係をつくるための考えを整理しまとめることができる。【HRアンケート】</li> <li>・HRアンケートは記入後、回収する。</li> <li>○人間は、国・肌の色・民族性・年齢・文化など様々な違いがあるが、人間の尊厳において平等であり、等しい権利が保障されていることについて話す。また、差別につながる違いがあることにも触れる。<u>それはクラスの仲間についても同じであることを強調する。</u></li> </ul>	HRアンケート

〈別紙1〉

〈別紙2〉

